



つむぐ

No. 22

令和4年3月1日発行 袋井市幼児教育センター

見たり触れたりして 自然に興味や 関心をもちます



袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

プールに張った氷に感動し、何とかして取り上げようとする。

自然の不思議さ、美しさに感動し、興味関心をもちます

子どもは身近な自然に興味をもって見たり触れたりする中で、形や色、手触りや動きなどに気付いたり驚いたりして関心をもつようになります。

大人は子どもの目線の高さから子どもの見方や感じ方に共感し、興味をもったことや感じ取ったことに寄り添うとともに、自然と触れ合う機会をつくり、出会いや体験する場を大切にします。



「向こうが見える。氷って透明なんだね。」



松ぼっくりをお肉に見立ててバーベキューごっこを楽しみます

好奇心や探求心、愛情をもって自然にかかわります

子どもは自然事象や自然物と触れることで心を動かし、遊びに取り入れながら、変化や不思議さなどに気付くことから、好奇心や探求心をもって、より豊かな遊びへと展開していきます。

また、動植物にも親しみや愛情をもって接するようになります。こうした触れ合いや体験は自然や命を大切にする気持ち、関心をもって学ぼうとする意欲につながります。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。



袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>